令和３年　３月１９日　　第６６号　　白河市立大信中学校

学校だより

三年先の稽古

発行：校長　益子　朗

目指すべき生徒像

体　鍛える大信中生
徳　あったか大信中生
知　学ぶ大信中生

３年生はなぜ「全勝」できたのか

２年連続の県立高校全員一発合格・・。なかなかできないことです。正直なところ実力的にはやや苦戦も予想されたましたが、なぜ「全勝」できたのでしょうか。

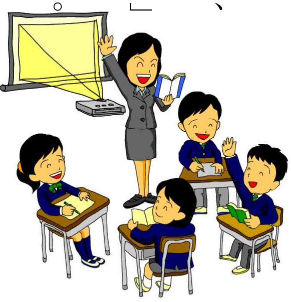
戦（いくさ）は勝敗が決するまでは結果が大切ですが、終われば勝因・敗因を分析して次の戦に備えなければなりません。

卒業式でも述べましたが、３年生の最大の長所は「学校を休まないこと」です。「みんなが行きたくなる学校」を体現してくれたのです。それはつまり、いじめやいさかいのない、よい人間関係が築けていたことです。勿論、全く悩みやもめ事がなかった訳ではありませんが、それを上回る「和」がみんなで支え合って困難を乗り切る力を生み出しました。

授業は「学び合い」によって展開されるものです。たとえ一人ひとりの学力が高かったとしても、学級みんなで課題解決に進むような授業でなければお互いに伸びることはできません。１年生の頃、なかなかそれができなかった彼らが、次第に成長し素晴らしい授業を展開するようになったのです。

学年主任の久保木先生は、常に「受験戦争は団体戦だ」とおっしゃって、意識を高めていました。森田先生は卒業式の後に号泣したあの熱いハートで学年のみんなを引っ張っていました。鏡味先生はかやのき学級からの高校進学を実現するため、３年間、計画的に指導をしてきました。川口先生は家庭学習の進め方をラミネートして、全員に配付し習慣づけを図ってくれました。また入谷教頭先生はじめ、飯島先生林先生、荒井先生、青木先生、尾股先生など、３年生の授業を担当した先生方も、学力向上のため真剣に取り組んでくれました。そして学力向上担当の薄葉先生は、放課後、何人もの生徒に数学の個別指導を熱心にしてくれました。

全員合格は、受験生一人ひとりの努力のたまものであることは勿論ですが、精神面・健康面で支えてくださったご家族や、コロナを完全にブロックし、授業に集中できる雰囲気作りに努めた１・２年生も含め、チーム大信でつかみとった勝利なのです。



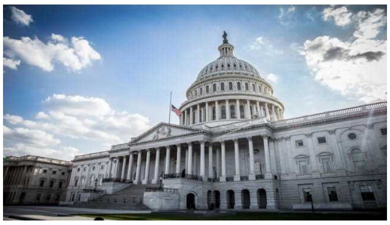
校長のつぶやき

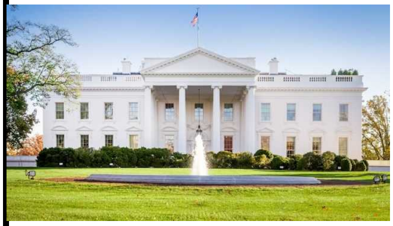
地理への招待

教科書は絶対？

社会科は歴史だけではありませんので、たまには地理の話題をご紹介してみます。

写真は、右がアメリカの連邦議会議事堂、左がホワイトハウスです。よく見れば全然違うのですが一見似ている感じもします。





実は、私が以前に大信中学校で社会科を担当していた頃、地理の教科書に「ホワイトハウス」と題して、誤って議事堂の写真が載っていたことがあります。珍しいこともあるものです。後日、教科書会社から、誤った写真の上に貼るようにと正しい写真のシールが送られてきました。

しかし、私はまたとないチャンスだと考え、シールを議事堂の写真の上には貼らせず、並べて貼らせて、両方が見比べられる状態にしました。

教科書と言えば実は大信中の先輩達は、地理の教科書で大発見をしたことがあります。世界の国の面積を調べる授業で、教科書を使った生徒と地図帳を使った生徒とで、アメリカの面積が食い違ったのです。世界一面積が広い国はロシア、２位はカナダですが、一方の資料では３位アメリカ（963万km²）・４位中国（960万km²）なのに、他方の資料では３位中国（960万km²）・４位アメリカ（952万km²）だったのです。資料によってアメリカの面積が11万km²も違うのです。

五大湖
中華人民共和国
アメリカ合衆国

教科書か地図帳のどちらかが間違っていたのでしょうか。生徒が教科書会社に問い合わせると、丁寧に回答してくれました。ポイントは五大湖です。国によって、または統計会社によって、湖など陸地に囲まれた水の面積、つまり内水面の面積を、国土面積に含めている場合と含めていない場合とがあるのです。アメリカの五大湖は合計10万km²以上もありますから、これを含めるかどうかで面積は大きく違ってきます。私も初めて知りました。教科書会社では次年度からは内水面を含むかどうか、注意書きを付けると言ってくれました。大信中の生徒の質問が、教科書会社を動かしたのです（ちなみに国連では内水面を含んだ面積を国の面積としています）。

たとえ教科書でも鵜呑みにせず、疑問に思って調べてみることは、とても大切なことですね。